

平成 22 年度第 2 回(通算第 30 回)

山口国際文化化学研究会へのおさそい

「仏教の虚像と実像」

教員世話人 安溪遊地 井竿富雄 張玉玲
院生世話人 高静 申明賢 竹部徳真

日時 平成 22 年 5 月 26 日(水曜日)16 時 10 分より
場所 国際文化学部会議室
主催 大学院国際文化学研究科

発表者 鈴木隆泰(国際文化学部教授、大学院国際文化学研究科長)

タイトル「仏教の虚像と実像」

東アジア仏教圏に属する私たちは、「大乘仏教上位、小乗仏教下位」という強烈なバイアスが懸かる中で仏教に対するイメージを形成してきました。そのイメージが多様な東アジア仏教文化の礎となったことはたしかですが、ともすれば仏教、ひいては宗教の実像を見誤らせ、私たちの視野が広がるのを阻害してきた可能性も否定できません。

今回の発表「仏教の虚像と実像」では、種々の先行研究や発表者本人による研究成果を総動員しながら、仏教文化・宗教文化の実像理解に果敢にチャレンジします。

なお、当研究会では「当該分野の専門家でない同僚や学生等に対しても、研究内容ができるだけ伝わるように」という基本方針のもと、「専門分野の学問上の位置、歴史、意義」などの基本情報や、「専門分野の魅力、選んだ理由」「将来の夢」「同僚や学生へのメッセージ」なども語らせていただきます。どうぞ安心(?)してご参加下さい。

終了後 18 時から Yucca で、第二部として自由なトークを展開できる場(やまぐち国際文化学 SALON)を準備しております(有料)。こちらにも皆様の積極的なご参加をお願いいたします。